

年間活動の記録 (2010年2~8月)

四月四日深坂さくらん
本紙六ページ。
四月十日さくら研修旅行
本紙七ページ
五月十六日総会
本紙一ページ、引き続
きもみじ谷手入れ作業。
この日は「もみじ谷」
の遊歩道整備に集中して
作業を行つた。県からチ
ツバーマシン（木材破碎
機）を借りてきて使用し
てみた。途中で動かなく
なつても、技術者（三輪



「森の家下関」九時集合。参加者五十二名。石楠花を五十本植えた。会員の和泉さん御夫妻製作の手彫りの標識も登場した。



七月十一日臨時総会
事務所移転は定款の変更になるので、総会で承認されねばならない。前日から激しい雨で、出席率が悪いのではないかと心配されたが、三八名の出席を得て、定足数を十分上回り、無事開催され、承認された。



遊歩道の木の除去

さん)が仲間に居るので、すぐに修理完了。心強いため、限り。もみじ谷では遊歩道の真ん中からも木が生えていた。「春は桜、秋はもみじ」がさくら友の会の合言葉だ。遊歩道も通れるようになり、この秋がまたいい。



木材破碎機と三輪さん

挑戦を検討しなければならないのは当然である。二〇〇九年一一月、このことを念頭において、指定管理者検討プロジェクト会議が発足した。以来合計七回、延べ一〇〇人時間以上をかけて検討を重ね、七月二九日の理事会に、これらの施設の指定管理者となるべしとい

A group of approximately ten people are gathered around a long table in what appears to be a workshop or laboratory. They are looking towards the camera. In the background, there are two flags: the Japanese flag on the left and a blue flag with a white emblem on the right. The room has fluorescent lighting and some equipment visible.

(プロジェクト会議)

シャッターチャンスを待つことが多い。季節によつて背景が変わり、また朝晩と光線の具合が変わるので、最高のチャンスというと、限りが無いだろう。鴨や、錦鯉など行く。湖の中から木が生



ご存知ですか？

指定管理者制度

市民の目線で、利用者の期待に応えるサービスを提供する一方、深坂自然の森の自然環境を、市民の財産として、守り育てる土台を築いて行きたいと願っている。

大きな責任

管理事業は年間千万嵩位の管理料を伴う事業であるから、大きな責任があるから、どんな困難が発生する。どんな困難があつても、それを完遂するくら友の会」としては、

う趣旨の答申をした。
準備に入る
それを受けて、理事会は、来春の入札に応札することを決定した。
プロジェクト会議はそのまま継続して、準備作業を開始した。現在その事業計画書の作成作業にかかっている。
下関市の思惑
下関市は、管理予算の

深坂遊歩
トます
なンし
好きイントロ
ボ紹介
「つり橋」
深坂ダムの上流には、かわいいつり橋がある。規模が小さいので、小さい子ども連れやお年寄りに好まれる。橋は湖面すれすれだから、多少揺れても怖いと言う感じはしない。

橋の上に人影を認める
と、広い湖面から白鳥が
る。

え出ているのも面白い。柔らかい光、爽やかな風、風の香り、小鳥の声、木々の緑、広い湖面、水鳥、魚影など、さまざまな自然が、ウイークデイの油や垢にまみれた心を癒してくれる。

近くのベンチに腰を下ろし、じつと白鳥を見守るのもよし。二羽の白鳥は、つがいだらうか？白鳥がいかにも幸せそうに見えてく